

新しい資料をご紹介します！



▶『民之心』初号



◀『文林』初号

▲『扶桑新誌』は、復刻版で欠号となっていた念願の十一号を寄贈いただき、完揃い(全二六〇号)となりました。明治十年代に発行された自由民権運動を伝える好資料です。



『みかは』三河新聞社
明治 22～23 年の 11 日分
『三河新聞』三河新聞社
明治 23 年からの 9 日分

令和四年三月にオンライン公開以降、好評を博しております『明治新聞雑誌文庫所蔵新聞号外コレクション』をご覧いただいた方などから号外のご寄贈が複数あり、新規タイトルも含め所蔵が更に豊かになりました。

『民之心』『文林』はどちらも明治二十一年創刊で、初号を含む欠号が寄贈されました。初号には、創刊の辞が掲載されるが多く、創刊の志しを知ることができます。

■号外ますます充実



紙幅の都合上、一部しかご紹介できず申し訳ございません。ご寄贈深く感謝申し上げます。

新聞雑誌の発達 明治20年前後の資料

当文庫初代主任である宮武外骨は明治文庫の資料蒐集について、新聞雑誌の発達の観点から、明治二〇年代半ばまでのものを注目の対象としていたようです。今回、外骨蒐集時の欠号を埋める資料を、多くご寄贈いただきました。

改修中も現在も続く資料寄贈

令和二年一月から一年半あまり続いた長期休館中、そして、リニューアル開館後も、資料を続々寄贈いただいております。新書庫に多くの資料を収めることができ、職員一同大変嬉しく思います。新聞・雑誌は、七百点以上の欠号が補充され、新規九十一タイトル(約六百冊)が加わりました。その中から、ほんの一部となりますが、新規収蔵資料をご紹介します。

『岐阜日日新聞』は、明治二十一年一月を過ぎで十六日分、まとまって寄贈いただきました。当該地域は前月に暴風雨による洪水被害をうけています。社説では河川改修と堤防築造に関する話題が続いています。一般読者の意見も投書として掲載されていて、治水体制について地域社会が求めていることが見えてきます。

■新聞タイトルの

変遷を追う

新聞『佐賀』は、明治文庫既有的新聞『佐賀自由』の継続後誌となります。新聞のタイトル変遷情報は明治文庫が注目して収集している新聞発行情報のひとつで、今回の新収蔵によって変遷を検証できるものとなりました。寄贈された紙面からは、明治三十五年十一月の明治天皇の熊本行幸にあたって、立ち寄りを想定した佐賀県内での準備、道路整備や神社移転の話まで出ていた様子がうかがえます。日々を報道する新聞からは、結果に至るまでの紆余曲折が見えてきます。



『佐賀』『佐賀自由』

明治新聞雑誌文庫 ニュースレター

第十一號
令和五年三月三十一日(金)
編集・発行
東京大学大学院法政学政治学研究所
附属近代日本法政史料センター
明治新聞雑誌文庫
〒113-0033
東京都文京区本郷七三二
電話 〇三五八四二二二七

年二回発行

URL
<http://www.meiji.j.u-tokyo.ac.jp/>
Mail
meiji.j@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
Twitter
[@UTokyo_LMeiji](https://twitter.com/UTokyo_LMeiji)



明治新聞雑誌文庫
所蔵新聞号外
コレクション
<https://iif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/gogai/page/home>

広がる繋がる明治新聞雑誌文庫

貴重資料「初期新聞」 全デジタル化へ

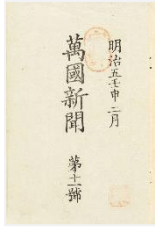
平成三〇年度から協力を続ける国文学研究資料館が推進している「日本語の歴史の典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(東京大学が拠点大学のひとつとして参画)。ここに、明治文庫の資料が更に加わります。幕末〜明治初期に全国各地で発行され、当文庫で「初期新聞」として所蔵する資料の多くが、どこからでも利用可能となります。「国書データベース」での公開です。一部公開作業中ですが、楽しみにお待ちください。



▲文学資料の草双紙『巷説児手柏』



国書データベース
当文庫画像一覧
<https://kokusho.nijl.ac.jp/page/list-toky-meij.html>



松濤美術館出陳展示 特別展「装いの力―異性装の日本史」展



出陳資料『大阪錦画新話』

渋谷区立松濤美術館の特別展「装いの力 異性装の日本史」(会期二〇二二年九月三日(土)〜十月三〇日)において、当文庫所蔵資料「大阪錦画新話」(女装の男が巡査に捕まる)、「大阪錦画日々新聞紙」(男として七年暮らした女)が出陳されました。資料借用の際は担当者の方から、時代の転換となる資料の一つとして展示したい、というお話をいただきました。実際展示を拝見し、資料の力を改めて感じました。特別展も、大好評だったとのことでした。

NHK「英雄たちの選択」 明治文庫館内で撮影協力



放映資料『太陽』を撮影

NHKBSプレミアム「英雄たちの選択」(二〇二三年三月八日放送「幻の地震予知〜大森房吉と関東大震災〜」)で『太陽』が放映で使用されました。

NHK「不可避研究」 に放映協力

NHK総合「不可避研究」二〇二二年九月二十三日「何かと面白いにくくて：圧 表現を考える」で、宮武外骨が発行した『滑稽新聞』六十九号「秘密外の〇〇」が放映で使用されました。

撮影取材協力『東大新聞』

『東京大学新聞』第二九八二号(二〇二二年十一月八日)で法字政治学研究科(日本政治外交史)の五百旗頭薫教授の特集が組まれ、明治新聞雑誌文庫の書庫、教員閲覧室での様子が撮影、掲載されました。

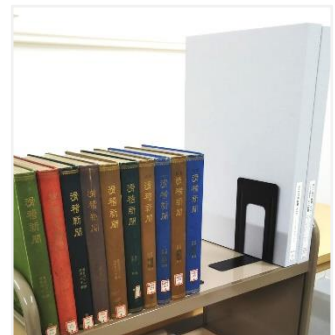
修理続々!!!

吉野文庫

中性紙保存箱収納開始

吉野作造博士が明治文化研究のために蒐集した「吉野文庫」は非常に重要な当文庫コレクションです。和書は、複数冊ごとに帙に収められていますが、そのまとまりを活かした中性紙の保存箱を作成し、一冊ごとにクリーニングして収納を開始しました。今後も数年にわたり保存箱に収めていきます。今回の保存箱は、寄付金により製作いたしました。皆さまのご支援に心より御礼申し上げます。

外骨関係資料の補修進む



補修後の『滑稽新聞』と保存箱に収納された『不二』

長年、懸念でもありました傷み、劣化のある外骨発行資料の補修、保存箱作成を専門業者に依頼いたしました。外骨の代表作『滑稽新聞』は、外骨自身がこだわった装丁をできる限り維持できるように修補しました。将来的な撮影、保存に適した補修となり、これらも寄付金によるご支援で可能となりました。深く御礼申し上げます。

マイクロ再作成を本格開始

原本資料を護り、広く閲覧に利用していたマイクロフィルムですが、劣化が進むTACフィルムからPETフィルムへの再作成を本格的に開始しました。長期保存、デジタル化への第一歩を歩み始めました。



中性紙保存箱に収められ新書架に並ぶ吉野文庫